

課題解決のための諸方策・コンセプト

■ 解決すべき課題

確認

【これまでの議論から見えてきた解決すべき課題】

- 将来世代に過度な財政負担を強いることなく、また、必要な公共サービスを維持・改善するために、市有財産をどう管理・利活用していくべきか？
- 施設の状況やサービスに見合った適切な料金設定や、利用手続きなど運用面の改善、アクセスの改善など、施設が効率的に利用されるために何をすべきか？
- 廃校となる小学校など、施設の役割が変化した場合は、その施設を具体的にどう利活用していけばよいか？

確認

■ 課題解決の狙い

② 地域に必要な機能を維持・向上する。(高齢者・子育て・防災等)

④ 地域が活性化する(魅力が増す、雇用を生む、地域に金が落ちる、人口が増える、等)

⑤ 地域間や世代間で利用や負担の公平性やバランスが取れる。

⑥ 施設が有効に利用され、安全で地域のためになる。

③ 地域のまとまりや中心性を保つ。

① 過度な財政負担が将来世代に残らない。

⑦ アクセスしやすく、気軽に使える。

■ 課題解決のための諸方策

確認・追加・修正
(具体の施設は?)

【課題解決の狙い】

【課題解決の諸方策 (アイデア)】

【期待する効果】

① 過度な財政負担
が将来世代に
残らない

- 複合化・多機能化などで規模(面積)を減らす
- 利用料などで収入を確保する,コストを削減する
- 不要な施設や土地を売却・貸付する
- 民間活力の導入をはかる
- ...

維持管理コストが減る
維持管理更新の財源捻出
雇用創出

② 地域に必要な機能
を維持・改善する
(高齢者・子育て・
防災等)

- 既存施設の使い方や運営を工夫する
- 未利用・低利用施設に機能を追加する
- 改築・新設の施設に機能を追加する
- 施設活用のための人材を発掘・育成する
- ...

必要な機能の維持・改善
高齢者の生きがい創出
多世代交流が生まれる
雇用創出

③ 地域のまとまり
や中心性を保つ

- 地域の人々が集まる拠点施設を新設する
- 施設を統廃合して、狭い範囲に集約する
- まちの魅力やサービスを強化して地域の人を集める
- ...

地域内の連携が強まる
地域内の交流が深まる
便利になる

【課題解決の狙い】

【課題解決の諸方策（アイデア）】

【期待する効果】

④地域が活性化
する
(魅力が増す・雇用
を生む・
人口を増やす)

地域資源活用のために施設・土地を利用する
施設・土地の活用で雇用や活動の場を創出する
住宅地を増やし居住者を誘致する
...

にぎわいが生まれる
地域の魅力が高まる
地域への愛着が増す

⑤地域間や世代間
で負担の公平性や
バランスが取れる

利用者負担（利用料）を見直す（軽減・追加）
多くの人が使えるよう制約を緩和する
市全体のルールに照らして矛盾がない
...

負担に納得できる
施設の利用が高まる
施設を利用しやすくなる

⑥施設が有効に利
用され、安全で地域
のためになる

施設利用手続きをわかりやすくする
施設の数・量を絞ることで維持補修を手厚くする
未利用・低利用施設へ新たな機能を持たせる
未利用・低利用施設を廃止する
...

施設の利用が高まる
安全対策が効率化される
維持管理コストが減る
維持管理更新の財源捻出

【課題解決の狙い】

⑦アクセスしやすく、気軽に使える

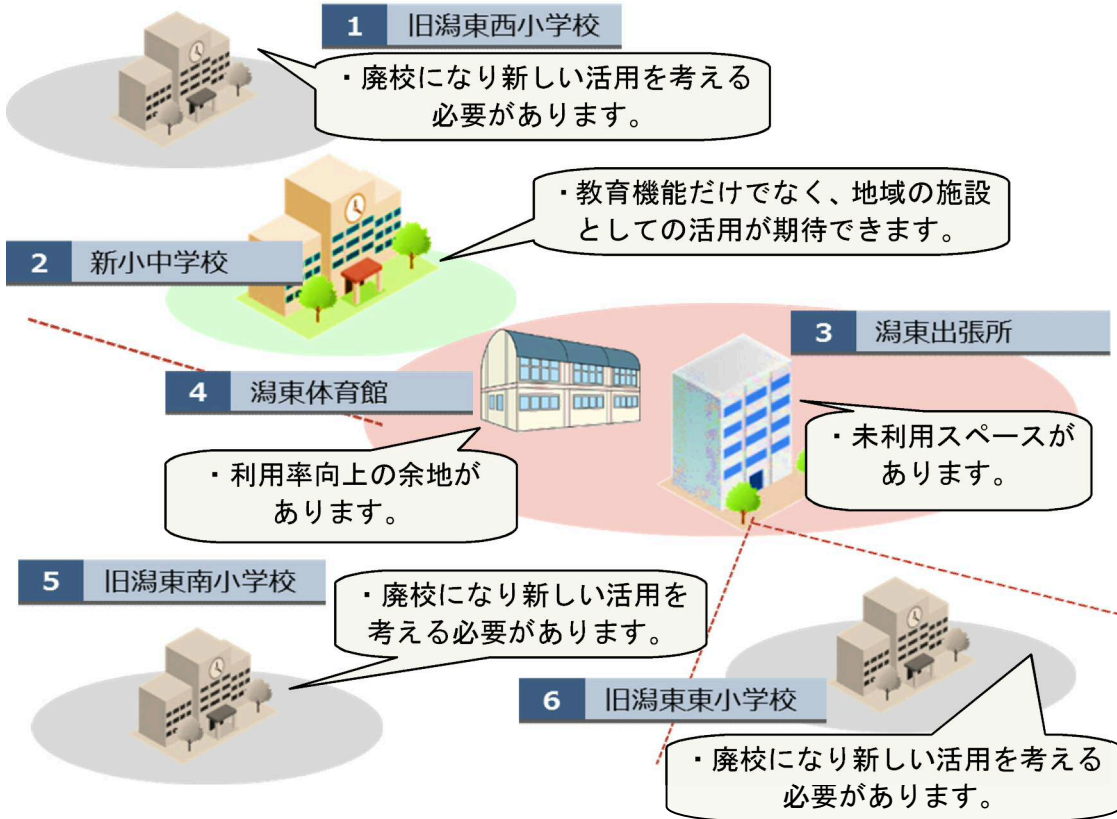
【課題解決の諸方策（アイデア）】

- 多目的に使える身近な施設を整備する
- 施設群を地域の中心に集約する
- 巡回バスなど新たな交通機関を導入する
- 駐車場が確保できる場所に施設を整備する
- ...

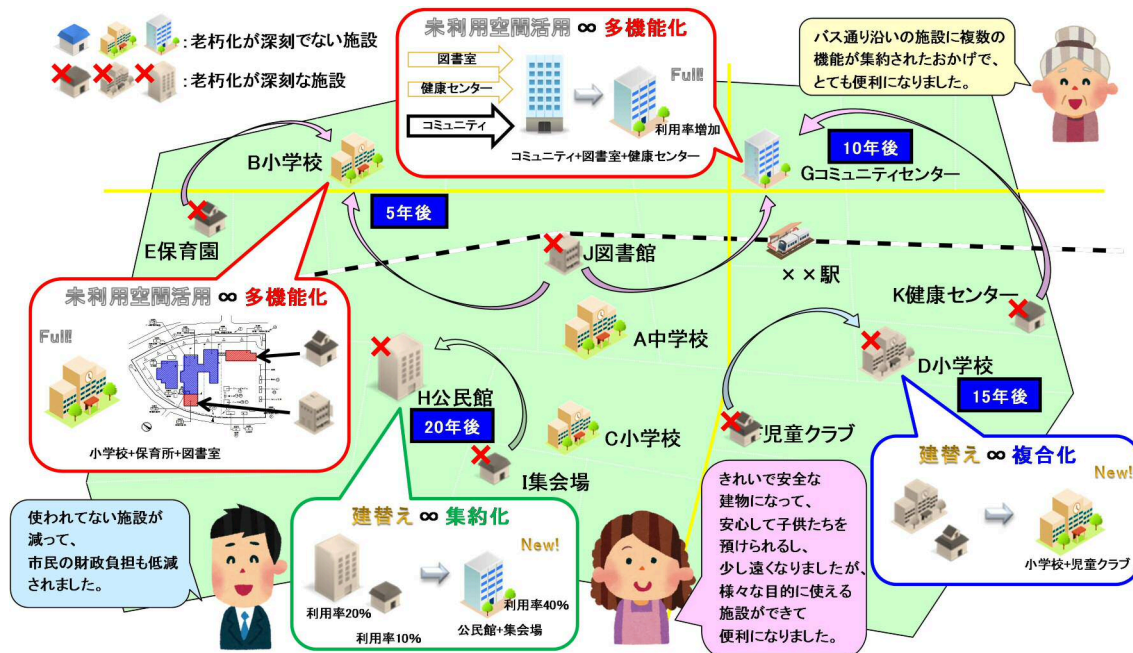
【期待する効果】

にぎわいが生まれる
地域の魅力が高まる
地域への愛着が増す
アクセス性の向上

【参考】 潟東地域において「鍵」となる施設



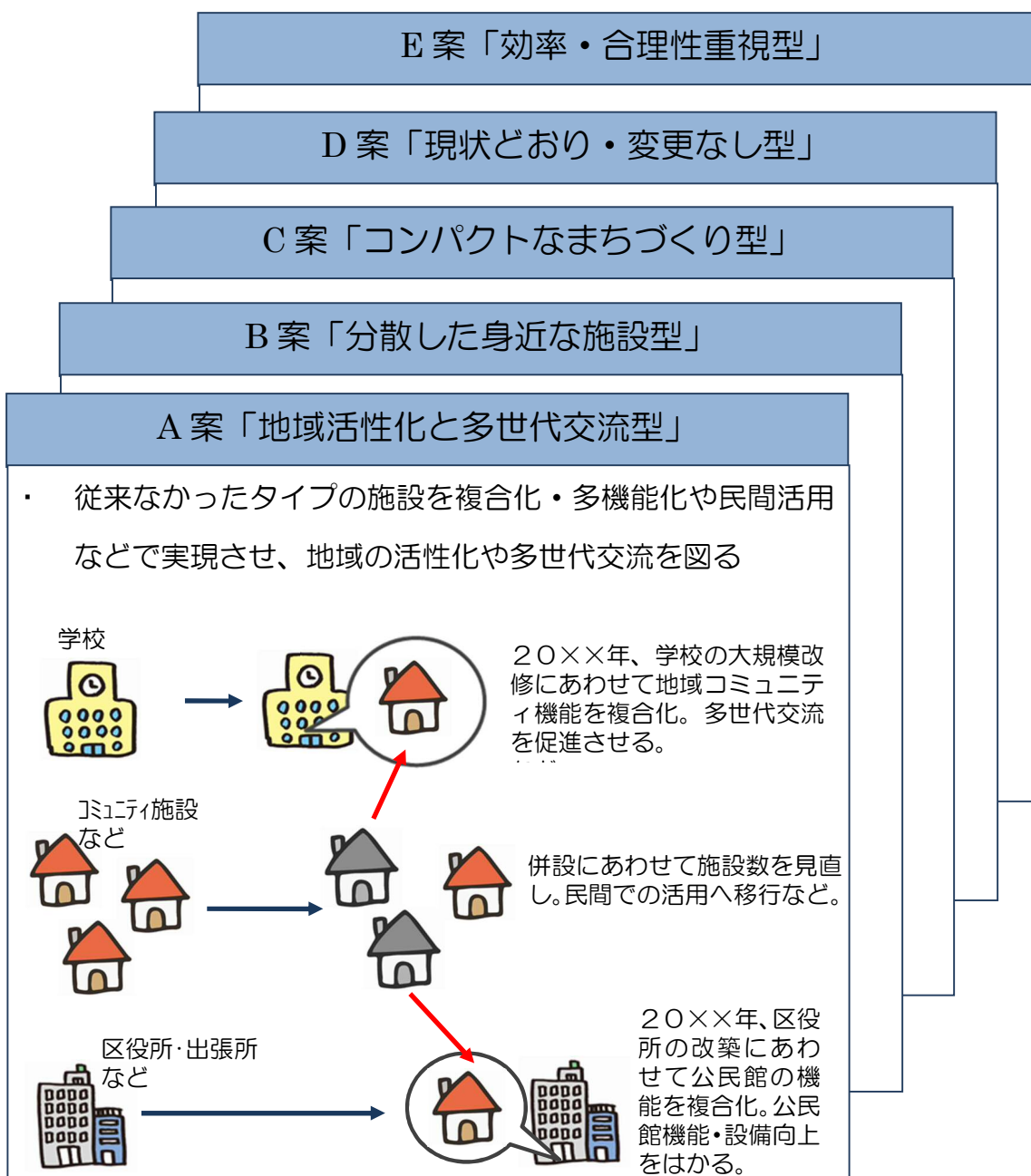
【参考】 諸方策を組み合わせるイメージ



■ 諸方策導入のコンセプト例

アイデアを出し
合いましょう

※諸方策（アイデア）を組み合わせるための考え方の「例」



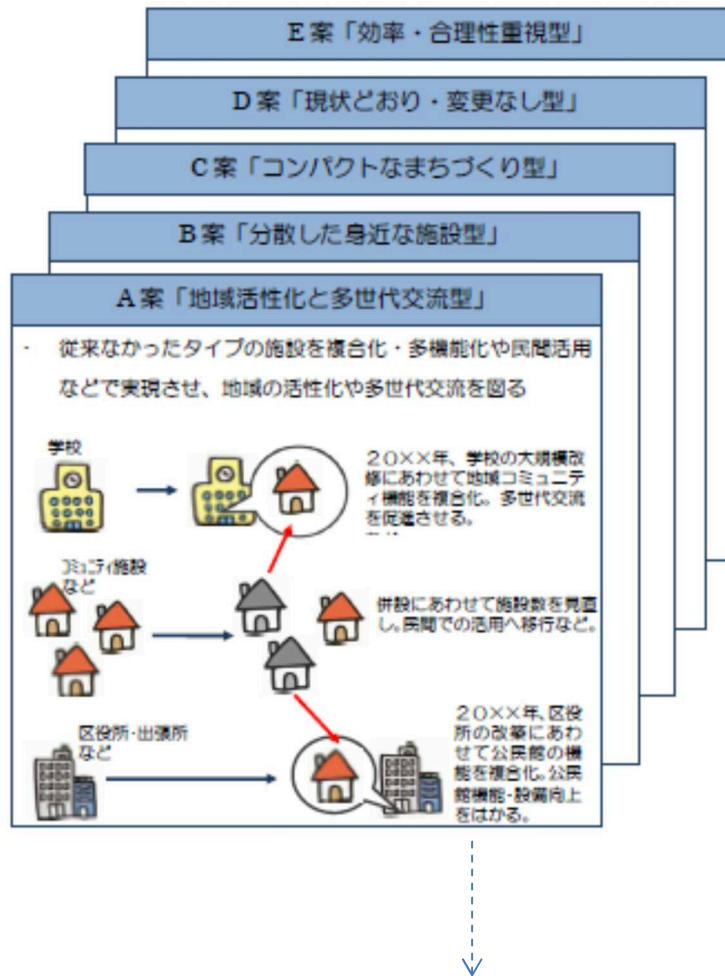
※ どのようなコンセプトが考えられますか？

■ 今後の進め方

(大まかな流れ)

今後の進め方への
疑問や要望は？

- ① コンセプトに基づいて、方策を組み合わせた案を複数作成
- ② 課題や狙いを踏まえて、複数の案を評価して比較



(課題や狙い)
・達成したいこと
・改善したいこと

評価軸	A案	B案	C案
コスト	○	×	△
利便性	○	○	×
賑わい	△	○	○
...	○	△	△
...			

【参考】なぜ、「財政負担を残さない」ための努力が必要か

【施設耐用年数に基づく将来費用試算（「財産白書」（平成 25 年度版）より）】
仮に長寿命化した場合でも、更新費用は大幅に不足することがわかっています。

シナリオ	今後50年間の 必要額	年平均の 必要額①	H17～24年 平均額②	年平均不足額 ①－②
標準 建替周期60年	1兆2,233億円	245億円	121億円	▲124億円
長寿命化 建替周期80年	8,988億円	180億円		▲59億円

・・・現状のままの水準ですべての施設を維持すると・・・

- ◆ 施設の維持費用を、その時代の新潟市における労働力人口（15歳から64歳）で支えると仮定すると、約20年後には、労働力人口1人当たりで現在の約2倍の負担を負うことになります。

シナリオ	現在の市民 (H22年_15歳から64歳) 年1人あたり負担額	20年後の市民 (H47年_15歳から64歳) 年1人あたり負担額	増減
標準 建替周期60年	23,279円	62,568円	約2.7倍 +39,289円
長寿命化 建替周期80年		45,968円	約2.0倍 +22,689円

・・・現状予算規模のままですべての施設を維持すると・・・

- ◆ 必要な補修が十分にできず、突発的な使用不能状態に陥る可能性があります。
- ◆ 建物の崩落などで思わぬ事故につながる可能性があります。

